

鳴門教育大学

学校教育研究紀要

No.32

中国における教育実習の現状と課題 —日本との比較による政策提言—	1	郑 新蓉, 石村 雅雄
デート DV 被害及び加害経験と性交渉による肯定的な情動体験の関連	9	井ノ崎敦子, 上野 淳子, 松並 知子, 赤澤 淳子, 青野 篤子, 葛西真記子
アサーショントレーニングと野外活動の関係性	19	中本 貴規, 南 隆尚, 能條 歩
市町村教育委員会の指導行政について —徳島県内の市町村教育委員会への質問紙調査より—	27	北島 孝昭, 阪根 健二
子どもの最近接発達領域を考慮した授業構成の検討 —小学校第5学年国語科における実践を踏まえて—	37	皆川 直凡, 横山 武文
発達障がいのある子どもたちの自立活動上の課題 —学校・家庭と地域事業所との連携に向けた自立活動チェックリストの作成(1)—	45	田中 淳一, 横山 由紀, 高橋 眞琴
地域連携を基盤とした発達上課題のある児童への支援 —学校・地域・家庭の協働に向けて—	51	高橋 眞琴, 横山 由紀, 田中 淳一
主体的・対話的で深い学びを目指した道徳科の実践	61	斉藤想能美, 池田 誠喜
図画工作科授業において児童にエンゲージメントを作り出す試み	71	森 裕二郎, 池田 誠喜
小学生の共同体感覚を育む学級づくりの取り組み	79	石丸 秀樹, 池田 誠喜
「自律的セルフ・エスティーム」を育成するユニバーサル予防教育の 教育目標の確立と授業方法の開発方針	91	山崎 勝之, 内田香奈子, 横嶋 敬行, 賀屋 育子, 道下 直矢
児童用の紙筆版セルフ・エスティーム潜在連合テスト —実施の手順と採点方法の詳細の紹介, そして課題順序カウンター バランスの削除可能性の検討—	101	横嶋 敬行, 山口 悟史, 賀屋 育子, 内田香奈子, 山崎 勝之
「テレビ会議システム」を活用した現職教員研修の構築	111	長江 徹子, 森 篤之, 北島 孝昭, 阪根 健二, 曾根 篤人, 泰山 裕, 竹口 幸志, 藤原 伸彦
「家庭学習の友」を活用した家庭学習支援について	123	森 篤之, 長江 徹子, 阪根 健二, 北島 孝昭, 藤田美智子
高校生による数学の全校一斉生徒授業の意義と学校経営にもたらす意味	137	笠江 由美, 金児 正史, 細川 眞文, 村山 時美, 姫田 史也
教職大学院と県教育委員会・教育センターとの連携による主幹教諭・ 指導教諭研修プログラムの成果と課題 —研修受講者と教職大学院教員への聞き取り調査を通して—	147	福田 幸司, 大林 正史, 前田 洋一, 藤井伊佐子, 日切 寛
国立大学附属特別支援学校における学校組織特性と「教師の教育実践の改善」の関連 —教職員を対象とした質問紙調査の結果の分析を通して—	159	前林 宏典, 大林 正史
学習経験および学習観が学習に及ぼす影響	167	竹口 幸志
高等学校専攻科の理科における思考力・判断力・表現力を高める授業実践 —アクティブラーニング型授業の取組—	173	富永 保典, 芝山 明義
児童養護施設職員の養育観とストレスに関する調査研究 —児童養護施設職員の養育観尺度開発を通して—	183	新村 隆博, 葛西真記子
教員養成における「アクティブ・ラーニング」を実践する力量形成の試み	191	藤原 伸彦, 木下 光二, 森 康彦, 若井ゆかり, 仁木 稔明
学生の授業実践力向上を目指した Reask モデルの構築	199	森 康彦, 木下 光二, 藤原 伸彦, 若井ゆかり
視写による作文学習の効果 —大学院生を対象とした事例研究を通して—	209	江川 克弘
平成 28 年度 附属小学校・附属中学校「教育相談室」活動報告	219	竹口 佳昭, 小倉 正義
野外教育における活動量とコミュニケーションの関係性に関する試み	225	南 隆尚, 松井 敦典, 坂口 聖徳, 中本 貴規

- 鳴門教育大学学校教育研究紀要(以下「紀要」という。)は、主として次の投稿論文を掲載する。
 - 地域連携センター(以下「センター」という。)の客員研究員研究プロジェクト(以下「研究プロジェクト」という。)の研究成果である未発表の投稿論文
 - センターの活動として行う研究等に関する未発表の投稿論文
 - その他センターが特に認めた未発表の投稿論文
 - 紀要に執筆できる者は、次のとおりとする。
 - 本学の専任教員及び附属学校園教員
 - 本学の専任教員を論文の共著者とした研究プロジェクトの研究分担者
 - その他センター所長が特に認めた者ただし、(1)(2)(3)ともに、共著の場合は本学の専任教員及び附属学校園教員を共著者とし、第一著者は本学の専任教員、附属学校園教員、研究員、客員研究員、研究補佐員、大学院生(連合大学院生を含む。)のうちいずれかとする。
 - 投稿論文の区分は、次のとおりとする。
 - 問題提起と研究成果・理論的考察を備えた、比較的まとまったものを原著論文とする。
 - 研究の経過報告、調査資料の報告などをとりまとめたものを研究報告とする。
 - 第一著者として投稿できる論文数は、1執筆者につき2編までとする。
 - 投稿論文の掲載の可否及び掲載の順序などについては、センター所長及びセンター担当教員で構成する学校教育研究紀要編集委員会において決定する。
 - 投稿論文の著作権及び公開については、次のとおりとする。
 - 紀要に掲載された論文の著作権は著作者に属する。ただし、鳴門教育大学に対して、継続的に複製権、公衆送信権を許諾することとする。
また、投稿論文が第三者の著作権その他の権利の侵害問題を生じさせた場合、一切の責務は投稿者が負うものとする。
 - 論文は原則としてウェブページで公開するものとし、掲載が認められた時点で、著者の許諾があったものとして取り扱う。なお、特別な事情によりウェブページでの公開を許諾できない場合は、理由書を学校教育研究紀要編集委員会に提出し、非公開とすることに対して許諾を得るものとする。
 - 執筆要項は、原則として次のとおりとする。
 - 原稿は、和文あるいは英文によるものとする。原則としてMS-Wordあるいは一太郎を用いる。印刷サイズはA4版の縦おきで、上下左右の余白は各々25mm、20mm、15mm、15mmとし、文と図、表、写真、文献等を含めて作成する。和文、英文ともに刷り上がりページ数は、原則として原著論文は10ページまで、研究報告は6ページまでとする。
 - 和文原稿は、常用漢字、新かなづかいで横書きとする。冒頭には、タイトル、タイトル(英文)、著者名、所属と所在地、著者名(英文)、所属と所在地(英文)、抄録(200～400字)、キーワード(重要な順に3～5語)、アブストラクト(英文、200ワード以内)、キーワード(英文)を1段組で、それ以降の本文、引用文献等は2段組(25×48行×2段組、段間は10mm程度)で記す。
本文の書体は明朝体(9pt)を標準とする。句読点は、原則として「,(コンマ)」と「。(句点)」に統一する。1桁の数字は全角、2桁以上の数字は半角、アルファベットは半角を基本とする。
 - 英文原稿は、冒頭に、タイトル、著者名、所属と所在地、アブストラクト(200ワード以内)、キーワード(重要な順に3～5語)を1段組で、それ以降の本文、引用文献は2段組(48行×2段組、段間は10mm程度)で記す。
本文の書体はTimes(9pt)を標準とする。
 - 氏名をアルファベット表記する場合の姓名の順序は、和文及び英文原稿ともに、母国の標記の順序(例:日本語の場合はYAMADA Taro)とし、姓は大文字で表記する。
 - 本文の見出しの番号の付け方は、和文原稿ではゴシック体(9pt)全角で、英文原稿ではArial(9pt)で、次のようにする。
大見出し ローマ数字で表す。中央揃えを標準とする。
中見出し アラビア数字で表す。左揃えを標準とする。
小見出し 片括弧付きアラビア数字で表す。左揃えを標準とする。
1. …
1) …
2) …
3) …
2. …
 - 図表
図(写真を含む)や表は、鮮明で内容が判別できるものを用いる。図表は必要最低数にとどめ、1枚の図表の最大サイズは刷り上がりで見開き2ページを超えないものとする。必要な場合は1段組にしてもよい。
図題は図の下に、和文原稿では図1、図2…のように、英文原稿ではFig. 1, Fig. 2…のように記す。また、表題は表の上に、和文原稿では表1、表2…のように、英文原稿ではTable 1, Table 2…のように記す。図題、表題ともに、和文原稿はゴシック体(9pt)、英文原稿ではArial(9pt)で、中央揃えとする。
写真は白黒写真を原則とし、挿入位置及び仕上りサイズを原稿用紙上につける。なお、カラー写真の掲載を希望する場合には、その印刷実費は第1著者又は研究代表者の個人(研究費)負担とする。
 - 参考文献及び引用文献
 - 本文中での文献の引用は、英字、記号、数字を半角とし、以下のとおりとする。
(例) GAGNE (1970b) は……
前田 (1969) は、……。
……と述べている (GAGNE, 1970b)。
……と述べている (前田, 1969)。
 - 文献は、投稿論文の最後に一括して、著者名のアルファベット順に表記する。記述は英字、記号、数字を半角とし、以下の形式を標準とするが、他の形式を用いてもよい。
 - 論文の場合は、著者名、発表年、表題、雑誌名(書名)、巻(号)、ページ。
(例) 鳴門太郎 (1900)、日本の学校、日本教育、16(1)、pp.1-10。
鳴門太郎:『日本の学校』、『日本教育』、Vol. 16, No.1, pp.1-10, 1990年。
『日本の学校』、鳴門太郎、『日本教育』、第16巻第1号、1-10頁、1990年。
 - 単行本の場合は、監編著者名、出版年、書名、出版社、ページ。
(例) 鳴門太郎編著 (1900)、日本の学校、日本出版、pp.1-200。
鳴門太郎編著:『日本の学校』、日本出版、1-200頁、1990年。
『日本の学校』鳴門太郎編著(日本出版、1990年、全200頁)
 - 外国文献の単行本の場合は、編著者名(出版年)、書名、出版社所在地、出版社、ページ。
(例) NARUTO, Taro (1900), The Japanese School, Tokyo, Nippon Syuppan, pp.1-200.
 - 注記は必要な場合には本文の最後、文献の前に一括して記述し、本文中では該当箇所の右肩上付で、注1)、注2)のようにして示す。
 - 研究プロジェクトの研究成果である原著論文又は研究報告については、文献の後に付記として、当該研究プロジェクトの年度、研究題目を明示する。
- 投稿は、文書ファイルを、教務企画部社会連携課地域連携係までメール(chiiki@naruto-u.ac.jp)にて提出する。
- 校正は著者が責任を持って行い、誤植の訂正のみとし内容の加筆、修正、削除等は受け付けない。
なお、著者校正は初校のみとする。
- 別刷の費用は、個人(研究費)負担とする。

Bulletin

of

Center for Collaboration in Community

Naruto University of Education

No.32, Feb, 2018

Contents

Original Papers

- 1 ZHENG Xin Rong and ISHIMURA Masao
The current situation and challenges of Teacher Education, especially teaching practice, in China
— Policy recommendations through comparative study with Japan —
- 9 INOSAKI Atsuko, UENO Junko, MATSUNAMI Tomoko, AKAZAWA Junko, AONO Atsuko and KASAI Makiko
The Relationship between Dating Violence Victims and Assaults and the Positive Emotional Experiences of Intercourse
- 19 NAKAMOTO Takanori, MINAMI Takahisa and NOJO Ayumu
Relationship of Assertion Training and Outdoor Activities
- 27 KITAJIMA Takaaki and SAKANE Kenji
Instruction Administration of Municipal Board of Education
— Questionnaire Survey for The Chairperson of Education Boards in Tokushima Prefecture —
- 37 MINAGAWA Naohiro and YOKOYAMA Takefumi
The Examination on the Contents of the Class Giving Special Consideration to Children's Zone of Proximal Development, Based on the Educational Practice of the 5th Grade Japanese Class
- 45 TANAKA Junichi, YOKOYAMA Yuki and TAKAHASHI Makoto
Self-Reliance Activities for Children with Developmental Disabilities Developing a checklist based on Self-Reliance Activities for The Collaboration of School, Home and Community
- 51 TAKAHASHI Makoto, YOKOYAMA Yuki and TANAKA Junichi
Development Support in Partnership with Local Communities for Children with Developmental Disabilities : For the Collaboration of School, Home and Community
- 61 SAITO Sonomi and IKEDA Seiki
A Practical Study of Moral Lessons for Agentive, Interactively and Deep Learning
- 71 MORI Yujiro and IKEDA Seiki
Attempt to Develop Engagement for Elementary Students in Arts and Craft Lessons
- 79 ISHIMARU Hideki and IKEDA Seiki
Approach to creating a class that developing children's social interest
- 91 YAMASAKI Katsuyuki, UCHIDA Kanako, YOKOSHIMA Takayuki, KAYA Ikuko and MICHISHITA Naoya
Development of the purposes of a universal prevention program for autonomous self-esteem and a plan for developing educational methods
- 101 YOKOSHIMA Takayuki, YAMAGUCHI Satoshi, KAYA Ikuko, UCHIDA Kanako and YAMASAKI Katsuyuki
The Paper and Pencil Version of Self-Esteem Implicit Association Test for Children: Implementation procedure and scoring method, and an examination of the possibility for omitting the counterbalance in the task orders
- 111 NAGAE Tetsuko, MORI Atsushi, KITAJIMA Takaaki, SAKANE Kenji, SONE Naoto, TAIZAN Yu, TAKEGUCHI Koji and FUJIHARA Nobuhiko
Construction of in-service teacher training using the "Teleconference System"
- 123 MORI Atsushi, NAGAE Tetsuko, SAKANE Kenji, KITAJIMA Takaaki and FUJITA Michiko
A Study for Students' Home Learning Support Utilizing "A Guide of Home Learning"
- 137 KASAE Yumi, KANEKO Masafumi, HOSOKAWA Mafumi, MURAYAMA Tokimi and HIMEDA Fumiya
Significance of the School Simultaneous Mathematics Classes by High School Students and Value of the Classes for School Management
- 147 FUKUDA Koji, OBAYASHI Masafumi, MAEDA Yoichi, FUJII Isako and HIKIRI Hiroshi
The outcomes and problems of the chief teacher and leading teacher training program by cooperation with the Graduate School of Education and the prefecture Board of Education, the education center
- 159 MAEBAYASHI Hironori and OBAYASHI Masafumi
Relationships between Characteristics of School Organization at the Special Needs Education Schools attached to National Universities and "Improvement of Teacher's Educational Practice"
- 167 TAKEGUCHI Koji
The effect of learning experience and learning structure
- 173 TOMINAGA Yasunori and SHIBAYAMA Akiyoshi
Teaching Science to Develop Abilities to Think, to Make Decisions, and to Express in a Non-degree Course for Graduates in High School: A Report on Introducing Active Learning Approach
- 183 SHIMMURA Takahiro and KASAI Makiko
Relationship between stress and value of rearing children in child nursing homes
— Development of a child rearing value scale for caretakers in child nursing homes —
- 191 FUJIHARA Nobuhiko, KINOSHITA Mitsuji, MORI Yasuhiko, WAKAI Yukari and NIKI Toshiaki
Professional Development for Students in Teacher Training to Practice Active Learning
- 199 MORI Yasuhiko, KINOSHITA Mitsuji, FUJIHARA Nobuhiko and WAKAI Yukari
Construction of *Reask* Model as a Method for Microteaching to Develop Pre-service Teachers' Teaching Competency
- 209 EGAWA Katsuhiro
An Effectiveness of Copying and Reading the Famous Author's Anthology
: Case Study of a Graduate Student
- 219 TAKEGUCHI Yoshiaki and OGURA Masayoshi
2016 University Elementary and Junior High School "educational counseling room" activity report
- 225 MINAMI Takahisa, MATSUI Atsunori, SAKAGUCHI Shoe and NAKAMOTO Takanori
Attempts on Relationship between exercise quantity and communication in outdoor educational activities